

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成25年12月(2013年) No.576

今年を振り返って 昨年より出席者、出品数共 数%減ながらも皆元気

会長 合原一夫

今年も早や師走を迎え、街ではジングルベルの音楽が聞こえてくる季節となってきました。一年のトシが経つのが早いものだと改めて感じ入っています。わが大阪ムービーサークルは、皆様のご協力と努力の賜物で、何とか無事この一年間の活動を終えて、新しい年を迎えようとしています。

記録を調べてみますと、まだ12月分の実績が判りませんので正確には答えられませんが、昨年の記録、毎月の例会出席者22.3人、出品数13.1本に対し、いずれも数%落ちている結果になっています。人数にしても凡そ1人、作品にして1本弱になります。この夏の傾向から見るともっと減ると思っていましたが、先月11月は来月回しの作品が4本も出たほか、新入会員さんも2人入会され、盛り返した感があります。この勢いを来年へ続けたいものです。

考えてみれば、どこのクラブも会員の高齢化が進み、作品をつくる方も減ってきたという話をよくききます。わがOMCも例外ではありませんがよく頑張っておられる方が健在で活躍されていることは心強い限りです。今年の公開映写会は内容も良かったというアンケート評価を得られましたので、来年も今年に負けない良い作品、自信作を各位めざしていただきたい。かく言う私が、妻が病気で介護する側になって時間的余裕、心のゆとりが大幅に制約されて残念ですが、出来る範囲で頑張らなくちゃと自分で自分を鼓舞しております。皆さん、どうか健康に留意し、無理して骨折などしない様、ご注意の上、映像作品づくりを大いに楽しんで下さい。そして例会や二次会で盛り上がりましょう。

12月例会は1週間早くなります

今年最後の12月例会は第3土曜21日午後6時よりいつもの大阪
市立難波市民学習センターにて開催。来期の会費8千円を会計に納
めてください。当日は13時より幹事会、15時より世話役会を別紙
ご案内の通り行いますので、出席の程お願いいたします。幹事会、世話
役会共、和室です。

■幹事会のお知らせ

- ・例会日 12月21日の午後1時より開催
- ・場所：学習センター内の和室

■世話役会のお知らせ

- ・例会日の午後3時より和室で開催
- ・来期の役割分担、会計報告、撮影会のことなど。

■1月例会のお知らせ

・1月19日(第3日曜日)午後1時から例会、総会を開催。5時から新年会を開催します。新年会出欠のハガキを年内までに投函してください。

著作権フリーの見本CD 視聴したい方ご連絡を

このほどT&K社から著作権フリーのCDサンプルが送られてきました。今までの著作権フリーCDは、どこにでも使えるありふれたものばかりで物足りなかったのですが、T&Kの担当の方とこういうBGMが欲しいといろいろと要望を私(合原)からも前田さんからも出しておいたところ、新作として今までとはイメージの違った曲を出してくれました。要望を出したのは、少し重い曲、震災、災害、ペットの死、病氣、死等のほか、何かに打ち込んで作っている、ひたむきさ等々に合うBGMをと要望しておいたところ、それらしい新曲を出してくれました。

これからコンテストに出す場合や、人から頼まれて作る作品などは著作権フリーのBGMを使っておいた方が無難です。もっとも作品のイメージに合わないといけないので、必ずしも著作権フリーを使わなくても、クラブの発表映写会程度のものなら何ら問題は起こらないと考えています。

■メールアドレス等修正・追加

- ・渡辺雄史
誤 = at-wata@m4.kcn.ne.jp
正 = at_wata@kcn.jp
 - ・吉村健一
E-Mail = ky2215@outlook.jp
 - ・高瀬辰雄
E-Mail = tksi947@mbox.kyoto-inet.or.jp
- 以上、よろしく願いいたします。

■11月例会のレポート

11月の例会は23日の午後1時より第1研修室で開催しました。司会、進藤さん、書記、有村さん、デッキ係に井上さん、河合さん、江村さん、受付兼照明係を宮崎さん、森下さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、江村、岡本、蟹江、紙本、河合、合原、黒田、進藤、関、高瀬、西村、野田、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉岡、吉村、渡辺(敬称略)の24人と作品本数18本が提出されましたが、時間切れで14本上映しました。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：有村世話役です)

1) 花傘を添えて(BD)

進藤信男

9分45秒

京都の祇園祭と言えは毎年7月17日に行われる山鉦巡行が有名で私達のビデオ作品でも大半は山鉦巡行を題材にしていた様に思います。ところがこれが前祭で24日には後祭として花傘巡行が行われていたのです。御輿を担ぐ子供たちの声や祇園太鼓、祇園囃子も賑やかに一列になって八坂神社から四条通、河原町通、御池通、寺町通と巡行して神社に戻ります。

馬に乗った武者姿の子供、花街の綺麗どころ等華やかです。これは初めて拝見した様に思います。そして来年からは前後祭の2回山鉦巡行をして昔に戻るそうで、この花傘巡行も同時に24日に行われるそうです。楽しい作品でした。

2) 雲海 竹田城址(BD)

江村一郎

6分00秒

兵庫県朝来市和田山町にある山城跡は昔は鄙びた場所で風景撮影には絶好な所で江村さんも何回か訪れ、名作を作っておられます。所が昨今は京阪神から日帰りのツアーバスで大勢の人達が押し寄せる観光地になっているそうです。そんな中、今回は昨年12月に城址から少し離れた山から雲海に煙る姿を撮影してこられました。1回だけの撮影でこの作品を作られたそうですが、限界はあるものの、音楽と時間の流れでよくここ迄纏められたものだと感心しました。

3) 魚吹八幡神社提灯祭(BD)

河合源七郎

13分01秒

各地の珍しいお祭を取材されている河合さんですが、今回は兵庫県姫路市網干の神社の秋祭です。10月21, 22日に撮影して編集されての登場です。神社の周辺27カ村を統括している神社ですので村中総出の担ぎ手によるだんじり4台と屋台18台が集結します。宵宮が提灯祭で提灯練りと言う長い竹竿の先端の提灯をぶっつけ合っつつぶし合うという珍しい行事です。これは壮観です。そして本宮は朝から宮入が始まり全部が終ると夕方から夜になります。規模の大きな珍しいお祭りを拝見しました。

4) 上高地明神池コース (BD)

渡辺雄史 6分30秒

上高地の明神池に向かって河童橋から梓川の左を歩いて往復されました。晴れていると岳沢(ダケザワ)湿原が美しいのですが、折しも雨模様で残念ですね。明神橋から明神一之池に入ると明神岳が見えました。まるで日本庭園の様な綺麗な二之池には寄らずに嘉門次小屋へ、そして同じ道を引き返し途中梓川岸から大正池端の焼岳を遠望されました。そして河童橋へ。楽しい散策でしたね。私は平成10年夏に関さんと紙本さんと3人で大阪から夜行バスで現地へ、早朝の大正池の朝霧を撮影、河童橋から梓川の右を歩いて嘉門次小屋で宿泊。朝霧の明神池を撮影したのを思い出し、この作品を見て懐かしい思い出が蘇りました。

5) サマルカンド (BD)

華岡 汪 12分58秒

シルクロードを代表する世界遺産のオアシス都市、中央アジア、ウズベキスタンの古都をツアー旅行で訪れ取材してこられました。お天気も良く雪景色に栄える青を基調にした風景が美しく表現されています。13世紀にモンゴル軍によって壊滅した都市をティムールと言う人が復興したのだそうで、沢山のモスクや廟を見学し紹介しておられます。初めてこの地を知り、この作品を見る私にとってはとても覚えられる数ではありません。一緒に行かれた方々が見たら大変喜ばれる貴重な映像だと思いました。

6) 有馬瑞宝寺の紅葉 (BD)

井上勝彦 7分35秒

ソフトバンクのiPhone 5sを購入されて11月19日に紅葉をテスト撮影されました。1080/30pの映像だそうで、4倍のスローモーションも出来るそうです。ヴィジュアルディの四季の秋をBGMにして美しい紅葉が描かれます。ワイコンを使用された所で周囲がボケるとテロップが出ますが、全体を通じてアップは良いのですがロングに甘さがある様に感じました。でも携帯電話でこれだけの映像が撮れるのですから驚きでした。

7) 鞍馬火祭、みんなで担ごう (BD)

森口吉正 10分10秒

鞍馬の火祭と言えば鞍馬寺の山門の石段で沢山の松明が焚かれ、やがて石段を若者が駆け上がり御輿を迎え、やがて渡御が行われる模様を描いた作品が多かったのですが、この作品はその前に鞍馬の集落で行われたこのお祭の前半を描いた貴重な映像だと思いました。祭提灯に灯が点された各戸の前で松明が焚かれた街道を小さな松明を担いだ子供達が元気に行進します。そして大きな松明の大人と続きます。狭い道に人が溢れて撮影は大変だったと思います。最初に由岐神社と祭の由来が語られ松明の作り方まで語られるのでよく理解出来ました。やがておなじみの松明を担いだ大人が山門に向かう所で終わります。火祭りの全貌を知る貴重な作品だと思いました。

8) 鉄道の旅 (BD)

山本正夢 11分00秒

山本さんの何時もの一人旅のようです。バングラデシュの鉄道でインドとの国境までを描いておられます。クルナと言う町までバスで行き夜、列車で出発です。バスも汽車も車内風景が出ますが外国人は一人も居ない様です。途中下車の町では市場やヒンドゥ教の寺院や世界遺産の僧院跡などが紹介されます。線路の上で商売してる人達は列車が来るとどうするのでしょうか。こんな旅ですと現地の言葉が通じて、食べ物を買うにもその国の通貨が必要ですよね。湿度が高いので霧に覆われた様な景色が続きます。ラルモニハットと言う町で1泊されて国境の町プリマリに到着、力車で国境まで行かれて終わります。初めて見る光景が一杯の興味深い作品でした。

9) 秋田、大曲 (BD)

蟹江利一

6分00秒

8月24日に行われた秋田県大仙市大曲の河川敷での全国花火競技大会取材して来られました。この大会は百年以上も歴史があり、全国の花火師が自分で花火を作り、持ってきて自分で打ち上げるのが参加条件だそうです。全編現場音で構成されていて最後の方ではNHKの東日本震災復興支援ソングの「花は咲く」が歌われていました。ただ花火というのは現場では地響きするような音で迫力があるのですが、ビデオカメラでは自動で音声を制御しますのでその迫力が伝わらないのが残念ですね。楽しい作品でした。

10) 毛利の城址を歩く (前編) (BD)

紙本 勝

14分40秒

紙本さんお得意の歴史物語、今回は中国地方筆頭の戦国武将毛利元就を中心に260年間の毛利家の本拠地だった広島県安芸高田市吉田の郡山城を中心に描かれています。訪れられた城跡はその他、鈴尾城、福原城、多治比猿掛城、宮尾城、富田城址等々。お元気な姿で急坂を上られています。元就の死後、孫の輝元の時代に広島城に移り郡山城が城跡となる迄で前編が終了です。後編はどんな展開になるのでしょうか。期待しましょう。

11) 嵐電のある風景 (BD)

前田茂夫

10分39秒

雨模様のある日、前田さんは一部を除いて都会では珍しい単線の路面電車を色々な角度から撮影されて作品に仕上げられました。嵐電北野線という4キロ程の区間で、走る電車は勿論、車内風景、運転手の手元、踏切、駅で待つ人々、乗り降り風景等々テツちゃんらしい映像が続きます。それにしてもこの個人情報に喧しい時代に乗客の若い女性のアップはどの様にして撮影されたのでしょうか。駅で物を食べている男性や最後に出てくる女学生も撮られているのを全く意識していません。どんなカメラでどんな撮影をされたのか一度お聞きしてみたいです。所々ドキッとするような映像のある作品だった様に思いました。

12) インレー湖周遊 (BD)

有村 博

10分36秒

去る5月末に山本さん、井上さん、森田さんと4人でミャンマーを訪れ、1泊してまる1日滞在したインレー湖の旅の記録です。既に山本さん、森田さんが同じ場所での作品を発表されていてまたか、とお思いの方も居られるかも知れませんが、私なりに作ってみました。

13) 門脇先生の思い出 (BD)

黒田敏彦

19分00秒

京都大学出身の日本古代史専門の文学博士、門脇禎二さんのお話です。京都府立大学、京都橘女子大の学長をされて名誉教授になり退職、奈良女子大の教授でもあったそうです。平成19年にお亡くなりになったので、奥様と娘さんにインタビューされて面影を偲べれます。京都府相楽郡精華町の図書館には門脇文庫があって沢山の著作本があるそうです。「三輪山の古代史、神々」とか「飛鳥古代への旅」など身近な文献もあるようです。偉大な先生のお話を見せて頂き有り難うございました。

14) 尾形のお人形様 (DVD)

吉岡貞夫

16分25秒

吉岡さんが会長のビデオクラブの会員、佐原正浩さんが撮影された映像を編集し制作されたDV作品です。福島県田村市船引町の旧道沿いに、悪魔退散の祈りで作られた高さ4メートルを超える人形の衣替えの行程です。初代の顔には文化5年(1808)の銘があるので江戸時代に始まったもので、現代の顔は昭和35年に制作され平成15年(2003)に福島県の無形民族文化財に指定されています。町の有志大勢で両手や耳、刀、長刀を作り、衣装を整え、顔を塗り替え形を整ってゆきます。4月の第2日曜日に完成したこの像は1年間ここに鎮座するそうです。東北地方の文化を紹介する貴重な出来るまで作品になりました。

この他、高瀬さんの「鞍馬の火祭」、野田さんの「秋立ちて」、岡本さんの「熊野古道・祈の晩夏」、森田さんの「竜の山」は時間切れで来月の上映となりました。12月に優先上映させていただきます。

これで上映を終わり、何時もの様に居酒屋組と喫茶組に別れて2次会を楽しみました。